



地域かかわり隊ワークショップ大変盛り上がりました 瀬田北中ブロック「人権を考える大津市民のつどい」秋の集会

令和6年11月9日（土）に開催された瀬田北中ブロック「人権を考える大津市民のつどい」秋の集会で、「地域かかわり隊」がワークショップを実施しました。テーマは、「新しいまちづくり～時代にふさわしい風習とは～」でした。

ワークショップでは、更に、

- ① 地域のまつりはこれからも行った方が良いですか
- ② あいさつは必要か
- ③ 役員（PTA）がまわってきたらどうするか
- ④ 性差を考えるとなく意見を言えますか
- ⑤ 人との関わりについて

という小テーマを設定し、5グループに分かれて実施しました。

『性差を考えるとなく意見を言えますか』というテーマのグループでは、参加者のおひとりが、ご自身の家族の例を挙げて、家庭での役割分担の話をしてくださいました。その話を述べられたあと、「今の意見について、どう思われますか」と声をお掛けして、参加者全員に話をさせていただきました。

最後に、参加者全員が一会場に集まり、各グループの意見発表会を行いました。

参加者からのアンケートでは、「いろんな世代層が参加されていて、ファシリテーターの円滑なコーチングで上手に交流会が進んだ。」「全員が本音で話すことができた。」「温かい雰囲気の中で、自分の思いを話しやすかった。」というご意見をいただきました。



地域かかわり隊がワークショップを行う前に必ず参加者の皆さまにお願いすることがある。

それは…

1 年齢 2 性別 3 地位

の三つを忘れて意見を出し合うということである。これを地域かかわり隊は「三忘の精神」と呼んでいる。他に、時間を守る、人の言い分を自分のものとして聴く（相手の気持ちになって聴く）、自分で判断して行動する等も併せてワークショップでのお約束としてお願いしている。



「三忘の精神」の説明をしている様子